■ オフィスコミュニケーション運用のさまざまなコストやリスクを低減

システム導入がより低コストに
主装置を複数拠点で共有

LAN配線やVPNを利用することで、支店や事業所など、複数拠点を1台の主装置でまかなうことが可能。低コストでシステム構築できるうえ、拠点間は内線電話として利用でき、通信コストも削減。

万一の障害時にも継続稼動
CPU二重化を実現

CPU二重化システムにより、万一、稼働中のCPUが障害を起こした場合、バックアップ用CPUに自動で切り替わることで稼動を継続し、安定したコミュニケーションを維持。

ラインアップ

［EP82(I)］

EP82(I)主装置

［ディジタル多機能電話機］300シリーズ

32ボタン電話機
(32D/WH)

24ボタン電話機
(24D/WH)

12ボタン電話機
(12D/WH)

24ボタン電話機
(24D/BK)

12ボタン電話機
(12D/ BK)

デジスレス電話機
(8D/WH)

停電対応電話機(アナログ回線)
(24PA/WH)

停電対応電話機(INS回線)
(24PD/WH)

［SIP多機能電話機］700シリーズ

32ボタン電話機
(32D/WH)

24ボタン電話機
(24D/WH)

12ボタン電話機
(12D/WH)

24ボタン電話機
(24D/BK)

12ボタン電話機
(12D/ BK)

デジスレス電話機
(8D/WH)

停電対応電話機(アナログ回線)
(24PA/WH)

停電対応電話機(INS回線)
(24PD/WH)

大型カラー液晶ディスプレイ電話機
(BK)

［無線IP電話機］

無線IP電話機MH250

［ソフトフォン］

(画面イメージ)

※電話機画像はCGです。

サービス機能一覧

■外線発信: トランクキャンプオン(外線予約)、可変短縮ダイヤル、局線自動発信接続、国際自即接続、固定短縮ダイヤル ■外線着信: PBXダイヤルイン(アナログ)、PBXダイヤルイン、回線追加ダイヤルイン、追加ダイヤルイン、マスターテレホン、個別着信(DIL)、障害時自動切換え、着信音識別 ■内線: 外線可変不在転送、外線不応答転送、外線話中転送、可変不在転送、全自動転送、着信呼種別転送、話中転送、不応答転送、内線代表、UCD(着信呼均等分配)、コールパーク、内線予約(内線相互キャンプオン)、2内線同時呼び出し、コールウェイティング、コールピックアップ、コールホールド、ステップコール、ハウラ音自動送出、プライオリティーコール、プレシグナル、ラインロックアウト、ラストナンバーコール、リコール、簡易操作、緊急受付電話、指定時間呼出し、自己保留、直通電話、通話時分予報音、内線相互接続規制、内線相互割り込み、秘書電話、不在案内、割込み拒否、長距離内線、モバイルサービス機能 ■共通: ページング、トーキサービス、保留音送出、外部保留音送出、外部拡張音源(VS-32)、三者通話、会議電話(8者/16者/32者会議)、IP電話会議(最大32者) ■多機能電話機: マルチプルマイライン、マルチライン、インタカム呼び出し、ダブルワンタッチ呼び出し、チェーンダイヤル、ワンタッチ転送、ワンタッチ呼出し、可変機能ボタンによるワンタッチ呼び出し、ワンタッチホットライン、ポーズ登録、ネームディスプレイ、ダイヤル番号秘匿化、漢字表示多機能電話機、経過時間表示、時刻表示、被呼内線状態表示、オンフックダイヤル、スピーカ受話、フッキング、三者通話、オフフックリンギング、保留(多機能電話機の保留ボタンによる)、自己保留(多機能電話機の保留ボタンによる)、コールパーク保留(多機能電話機の保留ボタンによる)、コールヒストリー、フォンブック、スタック再ダイヤル(ラストナンバーコール)、シリーズコール、音声呼出し、グループ音声呼出し、呼びリン、ダイレクトダイヤル、音声消音、リンガー消音、可変短縮ダイヤル、側音量オフ、着信拒否、着信鳴音指定、停電用多機能電話機接続、DSSコンソール、暗号化通信(SIP多機能) ■中継台: 中継台応答・自動保留／自動復旧、中継台可変短縮ダイヤル、中継台固定短縮ダイヤル、中継台個別呼出し、中継台通話録音、中継台保留音送出、中継台夜間不在転送、オートマチックリコール、シリーズコール、全自動キャンプオン、簡易操作(中継台)、即時依頼接続、待時依頼接続、半自動キャンプオン、リコール応答、分割通話、台間打ち合わせ、台間転送、呼状態表示、時刻表示、構滞呼表示、中継台ネーム表示、内線話中表示、中継台ランプチェック、着信呼種識別、中継台回線全話中表示、通話料金通知サービス、局線番号表示、ダイヤルモニタ、監視呼、中継台モニタ、中継台再介入、中継台割込み、着信順応答、中継台オーバフロー、中継台ディレイアナウンス、中継台経由着信接続、オートリリーズ ■ネットワーク: タンデム接続、タンデムトランクキューイング、デジタルトランクインタフェース(DTI)、異常通話時間回線監視、外線フッキング、専用線ホットライン、専用線自動発着信接続、専用線全話中トーキ、特定番号規制、特定ルート選択音 ■ISDN対応 ■OAI: スイッチコントロールファシリティ(SCF)、SCF接続規制、発ID通知機能(SMFN for ISDN)、ネームディスプレイ、局間ネームディスプレイ、OAIトランク簡易転送、PHS連動、OAI拠点別開番号収容対応、発信者番号の外部コンピュータ出力(アナログ公衆網) ■料金管理機能: IDコード料金管理(フォース・アカウントコード)、自局内SMDR(外部コンピュータ)、通話料金管理システム(SMDR) ■保守・運用管理機能: アラーム情報通知、外部アラーム表示、ラインロードコントロール(自動)、ラインロードコントロール(手動)、定期交換部品通知 ■発信者番号通知対応 ■PHS: PHSソフトキー、PHSネームディスプレイ、PHSグループ通信、PHS通信中圏外通知、PHS位置表示、PHS位置表示(多機能電話機LCD)、PHS局間ローミング、PHSコールパーク、PHSマルチライン収容、PHS圏外アナウンス、PHS固定短縮ダイヤル、PHS着信呼種別転送、PHS着信不完了転送、PHS転送先からの不在転送、PHS内線キャンプオン、PHS内線代表、PHS留守録、PHS位置検索 ■SIP内線: VoWLAN端末ネームディスプレイ、SIP内線コールパーク、SIP内線マルチライン収容、SIP内線圏外アナウンス、SIP内線固定短縮ダイヤル、SIP内線着信呼種別転送、SIP内線着信不完了転送、SIP内線転送先からの不在転送、SIP内線キャンプオン、SIP内線代表 ■ACD機能 ■周辺機器: MG(BRI)(SIPモード)、MG(PRI)(独自プロトコルモード)、MG(PRI)(SIPモード)、MC-MG(COT)、MG(SIP)、MG(SIP)16、NGN-GW、ペイロードサイズ可変化機能、SR-MGC、MC(Media Converter)、通話録音装置 ■ナースコール対応

■仕様

EP82(Ⅰ) M形／L形

項目		仕様	
モデル		M形	L形
CPU		Core2Duo	
制御方式		蓄積プログラム制御方式	
冗長構成		一重化／二重化	二重化
収容回線数*	非IP内線数	1,000	4,000
	IP内線数	4,000	
	PHS内線／無線IP電話機	4,000	
	局線収容数	1,500	
PIR収容数		4	16
LANインタフェース		10/100/1,000Mbpsイーサネットx2	
設置条件	周囲温度	0℃～40℃	
	相対湿度	90%以下(結露しないこと)	
電源	AC入力	AC100V±10%(50/60Hz)	—
	DC入力	DC -48V±5V	
寸　法([ ]は全員無し)		483[430](W)x476(D)x132(H)mm (本体:3Uサイズ)	
質　量		約16kg	

＊ 組み合わせにより変化します。必ずしも本値の最大値がとれるわけではありません。

EP82(Ⅰ)システム制御容量

			消費キャパシティポイント	システム内上限値	M形	L形	備考
内線	PHS端末		—	4,000台	4,000台	4,000台	
	SIPシングル内線						
	IP多機能電話		1(4台)	4,000台			
IPコンポーネント	SIP	BRIカード	1	—	1536ポイント	1536ポイント	
		PRIカード	8	—			SIPモードの場合
		8MCカード	2	—			
		VS-32	8	—			
	メーカー独自	MG(BRI)	1	—			
		MG(PRI)	8	32台			PRIカード(メーカー独自)も含む。
		MG(SIP)(16ch使用)	8	—			
		MG(SIP)(48ch使用)	16	—			
		MG(SIP)(96ch使用)	24	—			
		NGN-GW	24	—			
		MC-MG(COT)	2	—			
		MC-MG(7COT)	3	—			
		アナログMC	1	—			
		IP-CS	1	—			
		VS-32	8	—			カードタイプ含む
NW CH			8/32chあたり	999ch			ポイントは32ch辺り8消費
物理PIR			96	M形:4 L形:16			物理PIR内でIPコンポーネント、IP多機能電話を登録した場合はPIRのキャパシティポイントでのカウントとする。
システム	仮想IP-CS		1	0系用:400 1系用:400			SIPシングル内線収容時、およびご重化構成時に必要。 仮想IP-CS 1台あたり 同時通話数:3ch 0系用、1系用それぞれ必要
	プロトコルハンドラ		16	16			IP内線収容時には必要
物理PIR接続可能数			—	—	4	16	

安全上のご注意

●本商品ご購入後は、添付の「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。「取扱説明書」には、本商品をご購入されたお客さまや他の方々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しています。
●水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などの原因となることがあります。

■ワイヤレス商品に関するご注意

●ワイヤレス商品を安全にご利用いただくために、無線LANのセキュリティ設定(SSIDの変更、暗号設定など)を必ず行ってください。●ワイヤレス商品でIEEE802.11aを使用する際は、電波法により屋内でのみご利用ください。●ワイヤレス商品でIEEE802.11b/gを使用する際は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。●一部ワイヤレス商品は、変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しており、与干渉距離は約40mです。●一部ワイヤレス商品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。①使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。②万一、「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、すみやかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。③その他不明な点やお困りのことが起きたときは、NTT東日本窓口などにお問い合わせください。●一部ワイヤレス商品で使用する34,38,42,46チャネルの周波数は、衛星携帯電話や気象レーダ、高速道路の自動料金徴収システム(ETC)などでも利用されているため電波法により室内でのみ使用可能です。①万一、電波の干渉が発生した場合は、すみやかに使用周波数を変更するか、使用を中止してください。②5GHz帯は電波法により屋外での使用を禁じられていますので、ご使用なさらぬようご注意ください。③その他、何かお困りのことが起きた場合には、取扱説明書記載のNTT通信機器お取扱相談センタまでお問い合わせください。●「FOMA® N-02C」のFOMA機能に関する故障などについては、株式会社NTTドコモ(販売担当者)へお問い合わせください。●ワイヤレス商品は電波を使用しているため、スピーカ搭載パソコンによっては、電波の影響を受けてスピーカにノイズが入る場合があります。

■ご利用にあたって

●本商品はICなど電子部品を採用しているため、テレビ、ラジオ、アンプ、スピーカボックス、電気こたつ、電子レンジなど、電磁波や磁気の発生する機器のそばでのご利用は、雑音が発生したり、通信・通話が途中で切れるなどの原因となる場合がありますので、避けてください。●音声メールに保存されたメッセージは、個人情報にあたりますのでお取り扱いには十分ご注意ください。●本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。●ISDN回線で128kbpsで通信中は、64kbpsで通信する場合の2倍の通信料となります。●Netcommunityは、NTT東日本の商標です。●「FOMA/フォーマ」は、株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。●本パンフレットに記載されているシステム構成図などは実際の構成などと異なる場合があります。●IP電話は停電時にはご利用いただけません。●本システム内線側の単体電話機・ISDN端末との接続点は、電話網の仕様と完全には一致しないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。●本商品の動作については、全ての環境での動作を保証するものではありません。●本商品には無料修理期間があります。詳しくは、商品に添付されている保証書をご覧ください。●無料修理期間後において、毎月決められた料金だけで安心してご利用いただける「定額保守サービス」をお勧めいたします。
※本パンフレットの記載内容については、NTT東日本の営業エリア(北海道、東北、関東・甲信越地区)のものです。※本パンフレットの記載内容は2013年3月現在のものです。※製品の外観、機能および仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。※印刷のため実物と多少色が異なる場合があります。

システムの企画・設計から運用・保守まで NTT東日本の最先端技術でサポートします。

■遠隔システム診断・設定

電話回線を利用して、NTT東日本からのお客さまのシステムの状態を診断することもできます。万一の場合に備えて安心してシステムをご利用いただけます。
外線着信の際に鳴動する電話機を増やしたいなど、部品の追加を必要としないサービスの変更は、NTT東日本からの遠隔操作によりスピーディに行えます。

■まかせて安心。NTT東日本の保守サービス

定額保守サービス お客さまに常に良好な状態で本装置をご利用いただくために、NTT東日本が用意した保守サービスです。毎月定額料金をお支払いいただくことにより、各種部品(コードレス電話機電池パックなどの消耗品を除く)の老朽化による故障修理などにかかる費用が無料*となります。詳しくは販売担当者にお問い合わせください。
＊サービス範囲外の故障修理については、有料修理となります。
〔 サービス概要 〕・一般の故障時における修理サービス。・常に安定した機器の状態を保つ、定期点検サービス。
・周辺機器(パソコンに限る)のハードディスクを対象とした定期交換サービス。

実費保守サービス お客さまからのご要請により、本装置の修理、点検、調整を行うサービスです。修理、点検、調整に必要な費用はその都度必要となります。

●お問い合わせ・ご相談はお気軽に

ホームページ http://www.ntt-east.co.jp/

K12-6240【1303-1403】

NTT東日本

次世代ネットワーク対応
IP電話システム

Netcommunity SYSTEM EP82 I

規模で、コストで、効率で
そのビジネスにベストなIP環境を。

ひかり電話 オフィスAエース 対応
(電話サービス)

コミュニケーションの最先端へ。
次世代ネットワーク対応フルIPシステム。

あらゆるコミュニケーションツールを統合・連携。
次世代が求めるビジネス環境を
NTT東日本の「EP82(I)」が実現します。

※電話機画像はCGです。

IPソリューション

NTT東日本のIPネットワークと組み合わせて、ベストなソリューションを提供

通信のトータルコストを削減

NTT東日本が提供する「ひかり電話オフィスA(エース)」のご利用で、全体的な通信コスト削減が可能。

◎通話時間が短い場合や割引サービスの加入状況などによっては削減にならない場合があります。

光IP電話サービス
ひかり電話 オフィスA エース

本社－支店間(複数)での
音声通話料が
何人が何回かけても、
何時間でも、
NTT東日本エリアなら、

0円 ※1 ※2

◎本サービスのご利用には、「フレッツ 光ネクスト」(インターネット接続サービス)もしくは「ビジネスイーサ ワイド」のご契約が必要です(契約料、工事費、月額利用料がかかります)。なお、「Bフレッツ」、「フレッツ 光ライト」ではご利用いただけません。◎本サービスのご利用には、月額利用料が必要です。◎本サービスのご利用には、本サービスに対応したアダプタもしくは通信機器が必要です。※1 ご利用には、事前にグループ登録のお申し込みが必要です。グループ登録が可能な回線は、NTT東日本営業エリア内の同一契約者名義に限ります。なお、グループに「ひかり電話オフィスタイプ」「ひかり電話(基本プランのみ)」(いずれも電話サービス)を含める場合は、別途、グループ通話定額(有料)の契約が必要です。詳しくは販売担当者までお問い合わせください。※2 本サービスを同一契約者名義で利用いただいている事業所間の音声通話料(NTT東日本の営業エリア内)が無料となります。

加入電話への音声通話料が東京－札幌、大阪、那覇でも、どこへでも、

全国一律/3分 8.4円(税込) ※3

例えば、東京－札幌なら、

加入電話/INSネットの場合	ひかり電話オフィスA(エース)の場合
※4 84円(税込)/3分	90% DOWN! 8.4円(税込)/3分

※3 加入電話、INSネット、ひかり電話(電話サービス)への通話料は全国一律3分8.4円(税込)となります(プラン2の場合。他プランの場合は通話料が異なります)。携帯電話への通話などについては通話料が異なります。「テレビ電話」の通話料および「データコネクト」の通信料については料金が異なります。※4 県外(NTTコミュニケーションズ、100kmを超える遠話)へ通話した場合。市内(NTT東日本)へ通話した場合は8.925円(税込)/3分。県内市外(NTT東日本、隣地～20kmまでの通話)へ通話した場合は21円(税込)/3分となります。【いずれも平日午前8時～午後7時の間に通話した場合】

拠点間通信を内線に

拠点間をIPネットワークで結び、拠点間の通信を内線として利用することで、拠点間の通信コストを削減。

配線を一本化

音声とデータを1本のLAN配線に統合し、導入コストと配線のわずらわしさを低減。

レイアウト変更が容易

LANにつないですぐに利用できるIP多機能電話機。同じ内線番号のまま、容易に移動やレイアウト変更が可能。

多彩な機能

幅広いニーズに応え、業務を効率化

携帯電話/無線LANデュアル端末※1
携帯電話/無線LANデュアル端末を利用して、企業内モバイルセントレックスを構築できます。

音声メールシステム※2
外出中にかかってきた電話を録音したり、メッセージ再生できます。PCシステムの運用が可能。

コールセンタ向けシステム(内蔵ACD機能)
電話を着信順に複数の受付者に均等配分して、効率的な電話受付業務を実現します。

保守
遠隔システム診断など、NTT東日本の最先端技術でサポートします。

※1 対応携帯電話:NTTドコモ FOMA®N-02C　※2 別途オプションが必要になります。

IP NETWORK SYSTEM

Netcommunity SYSTEM
EP82 I

■ IP SOLUTION

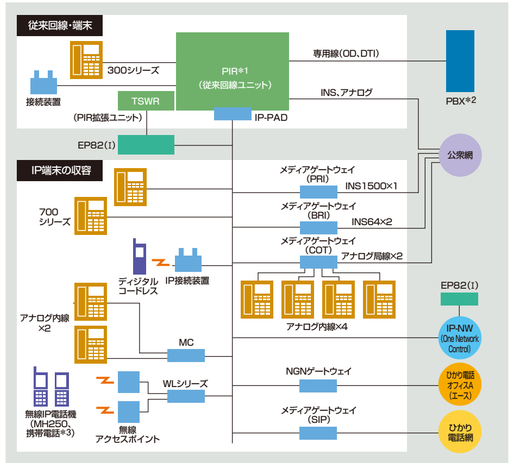
フルIPはもちろん、従来回線を使ったハイブリッド構成も可能。

柔軟なシステム構築力

■ 既存システム資産の有効利用
■ IP化による通信コスト削減

●無駄なく段階的なシステム構築が可能。

■全体構成図(例)



※1 PIR:従来回線を収容できるユニット(L形:最大16台/M形:最大4台収容可能)。※2 対応できない機種があります。詳しくは、販売担当者にお問い合わせください。※3 対応電話機:NTTドコモ FOMA®N-02C

複数のPBXを1つのネットワークとして一元管理。

One Network Control

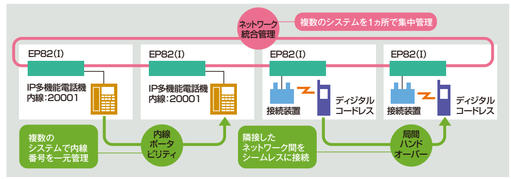
■ 運用業務の効率化
■ 運用管理コストの削減

●複数のPBXで構成されているネットワークを、1台のPBXで構築した1つのシステムのように運用することが可能。
●各PBXシステムの運用管理を、1ヵ所の保守コンソールから集中管理することが可能。
●全拠点の全端末で、同一サービス、同一の操作性を実現。

拠点間内線ポータビリティ
●他の事業所に異動しても、内線番号はそのまま継続使用することが可能。

局間ハンドオーバー
●どの拠点にいても、ディジタルコードレスの内線利用が可能。社内のどこにいても自分宛の着信に応答でき、通話が可能。

■One Network Controlイメージ図



多彩な機能と優れた拡張性で、電話業務を効率化。

モジュール構造の多機能電話機

■ 電話機を買い換えることなく機能拡張が可能
■ 電話業務の効率化

●電話機のモジュール化により、クレードルの変更やラインキーの追加など、容易に機能拡張が可能。
●幅広い用途に応える豊富なオプションをラインアップ。

※1 カラーサイドパネルの色はイメージです。※2 ディジタル多機能電話機のみ対応です。
※機器画像はCGです。

■ Mobile Communication

快適なモバイル環境が、ビジネスの機動力を向上。

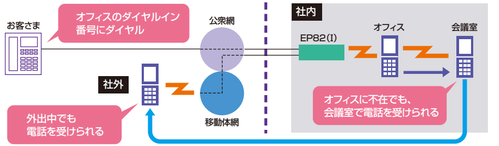
携帯電話/無線LANデュアル端末対応

■ ビジネスの機動力が向上
■ IP内線化で通信コスト削減

●社内ではIPワイヤレス内線電話、社外では携帯電話として利用可能。
●社内では、IPワイヤレス内線電話として発信するため、通信コスト削減が可能。
●社内・社外、どこにいても個人外線番号で着信可能。*

※社外にて携帯電話として電話を受ける場合、主装置から携帯電話への通話料金は、主装置を利用されている方の負担となります。

対応電話機
NTTドコモ FOMA®N-02C



PBX間ローミング機能 他の事業所にいても、自分宛の電話を自動転送。どこにいても電話やメッセージを受け取ることができます。

ディジタルコードレスにも対応 社内における快適なモバイル環境を実現します。